

第一回奏刀印社

# 書法篆刻展

《特集》——肖形印——

【併設】高野子皎三二個展

（ご案内申し上げます）

◇会場……ふくやま書道美術館（エフピコRiM八階）

市民ギャラリー

福山市西町一丁目一番二号

◇会期……平成三十年

十一月二十日（火）～十一月二十五日（日）

午前十時～午後七時

※最終日（二十五日）↓午後四時まで

入場無料



漢中《石門・古漢臺》

《白有印社事務局》

〒720-0825

福山市沖野上町5-5-14

☎(084) 931-2159

（野毛 方）

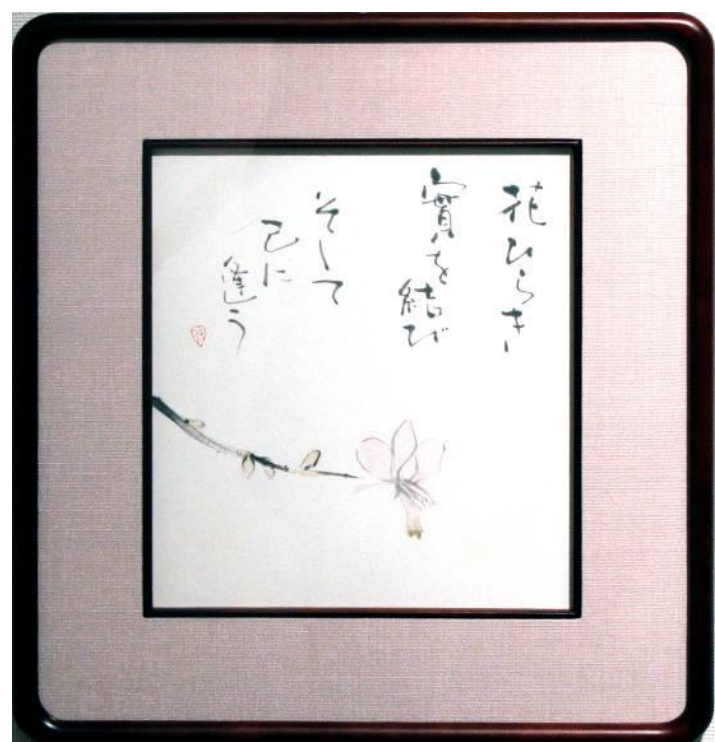




《会場風景》



《作品集》



花ひらき 實を結び  
そして己に逢う

代表 野毛 保(白有)



直心是道場



人生不滿百 常懷千載憂





做右章四枚



耕石堂



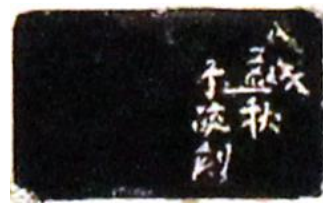
住社印



觀自在菩薩



疆其骨



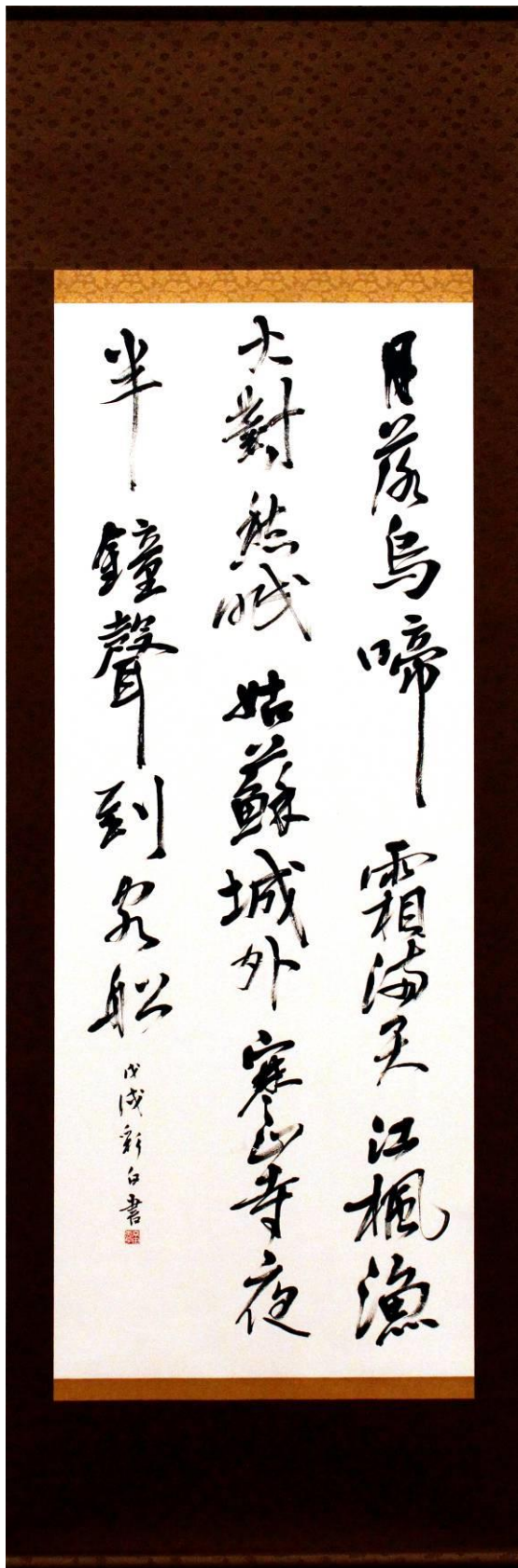
常興舍

高野國昭 (子皎)



淵默雷聲





石章二方



無我

楓橋夜泊



受大喜

常興舍 桑田恵子(彩白)







千古不易



甲骨文



月如霜



自在長老



甲骨文



網格紋鼎



白駒過隙



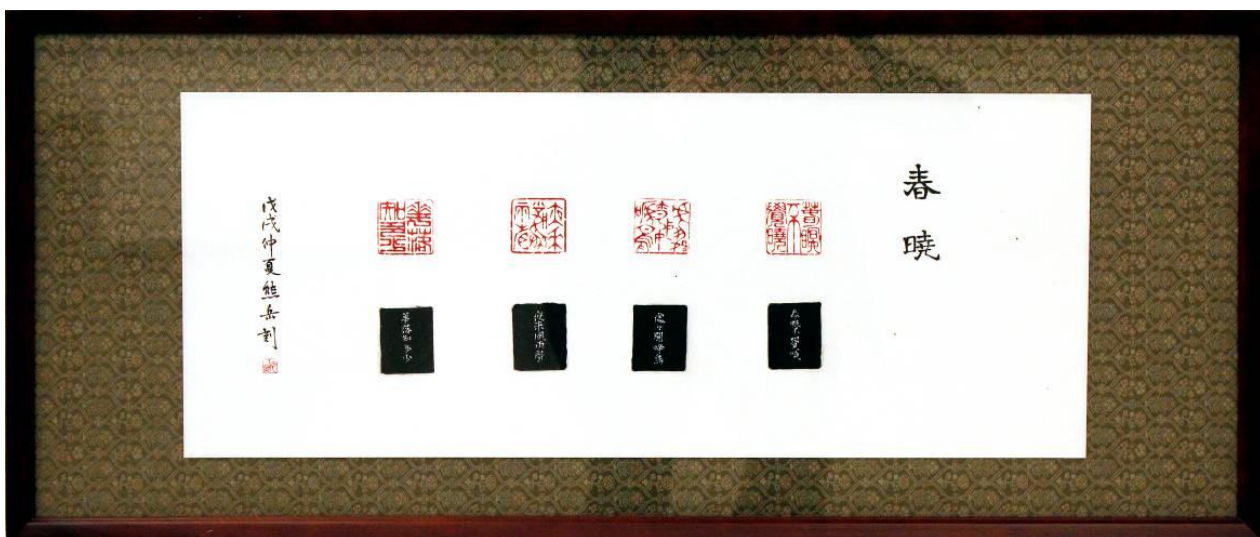
常興舍

藤井幹雄 (早雲)

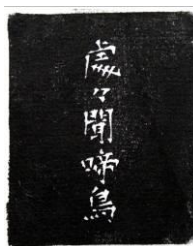


安寧

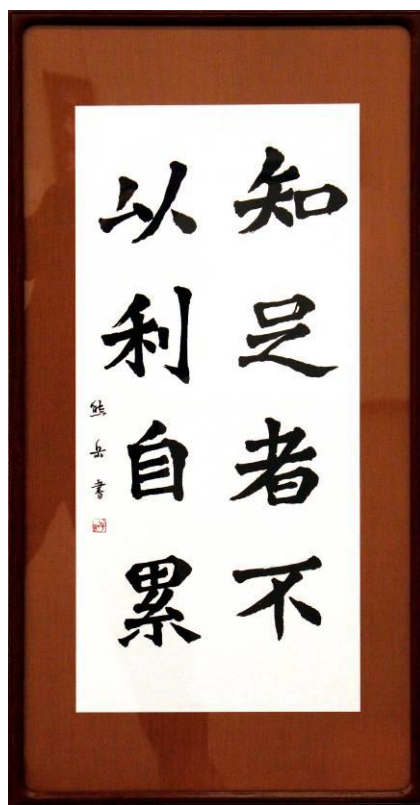




春曉



靜觀自得



知足者不 以利自累

常與舍 四元教夫 熊岳







月到天心



五福祥来



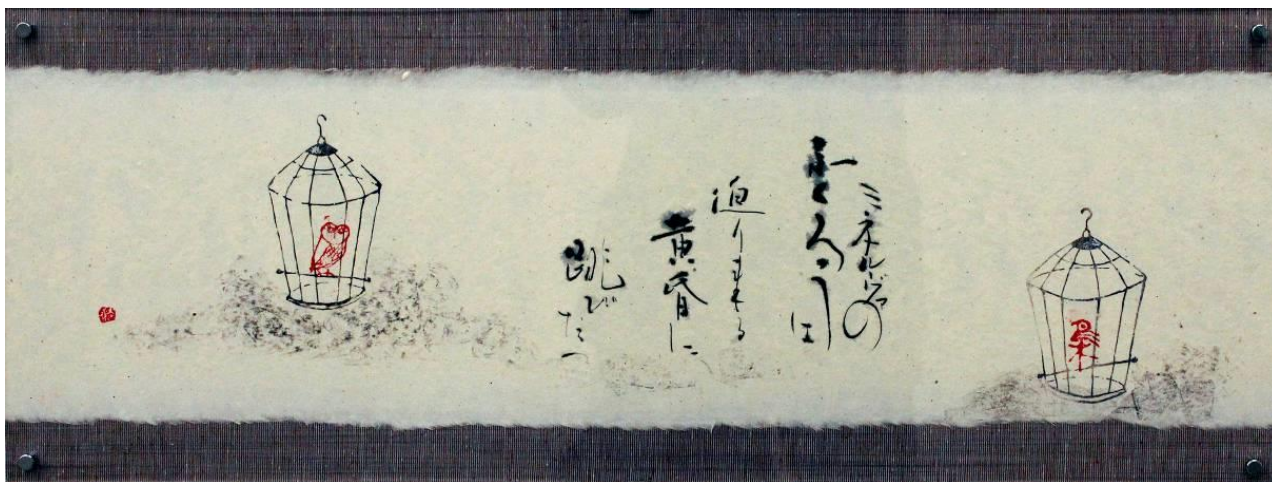
偶成



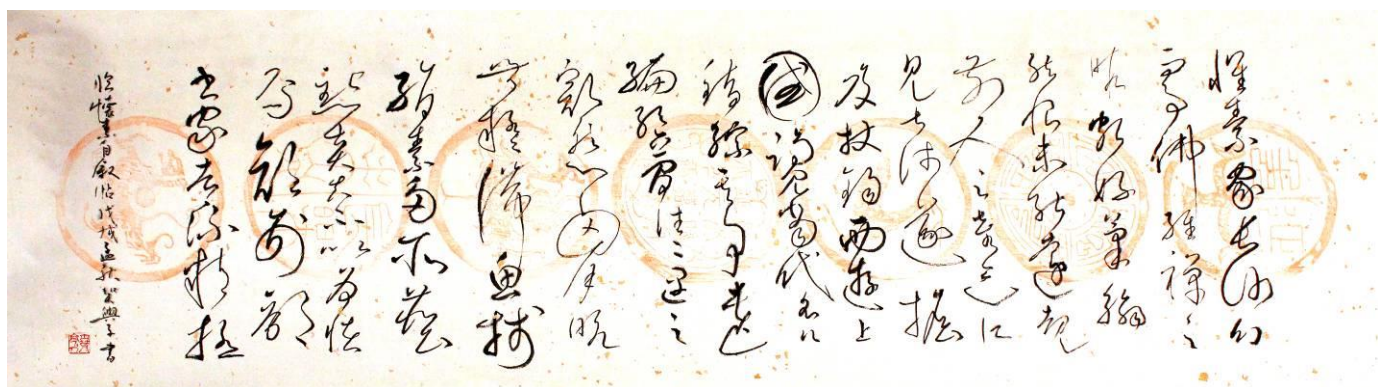
常興舎 山田登志夫(仙洞)







梟二題



常興舎 赤山賀与子(淡久)

自叙帖(冒頭)

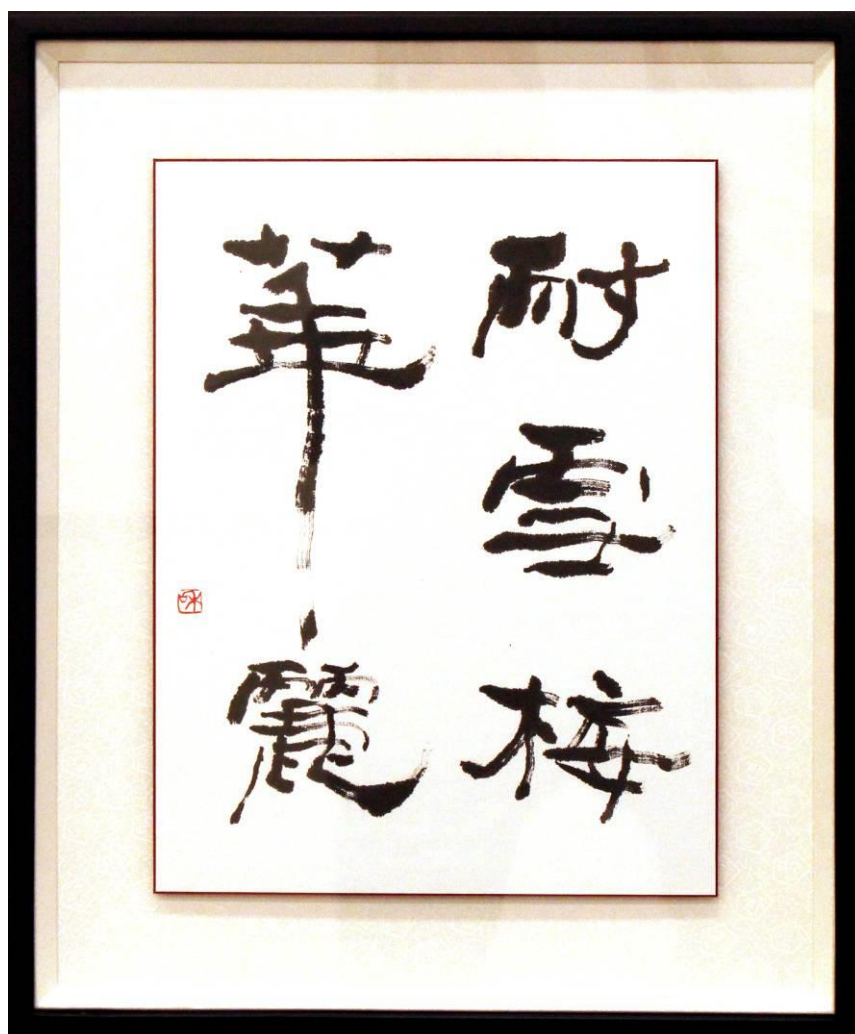
—唐・懷素—

懷素家長沙。幼而事佛。經禪之暇。頗好筆翰。然恨未能遠。觀前人之奇迹。所見甚淺。逐担笻杖錫。西遊上国。謁見當代名公。錯綜其事。遺編絕簡。往々遇之。豁然心胸。略無疑滯。魚牋絹素。多所塵点。士大夫不以為怪焉。顏刑部書家者流。精極筆法。

常興舎 赤山賀与子(淡久)

懷素は長沙に住み、幼少より仏門に入り、誦経参禅のかたわら、たいへん筆翰を好んだ。しかしながら残念に思っていたことがあった。それは、遠く先人の珍しい筆跡を見ることができず、見たもの極めて浅薄であつたからである。  
そこで遂に書物箱をかつき杖をついて、西方の都へと遊学し、当時の名士に謁見しては先人の書を集めた。そうした生活の中で、先人の遺した著述やすばらしい書簡に出会うことができ、ハットと心が洗われるように、心のわだかまりはすつかり消えた。魚牋紙や絹素をはじめ、多くの所に揮毫したが、士大夫たちはそれを見ても怪しむことはなかった。刑部尚書の顔真卿は、書家としては筆法極めた人である。





耐雪梅華麗



常興舎 井上和義 (陳倉)







佛道



唯我独尊

常興舍

水野宏康 (義山)

天上天下





人間萬事塞翁馬



自燈明



麗新

常興舍 甲谷有美 (鳳梨)







嘉祥



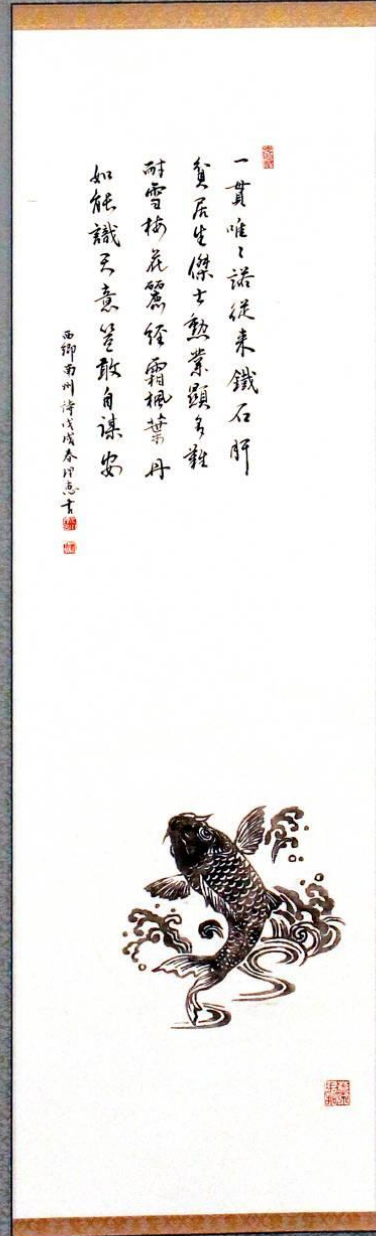
常興舎  
山本美紀  
雨露

来萬福



一貫誰誰諾 從來鐵石肝  
 貧居生傑士 勲業顯多難  
 耐雪梅花麗 經霜楓葉丹  
 如能識天意 豈敢自謀安

— 西鄉隆盛 —



鯉拓

青龍舎 久川理恵 蒼泉

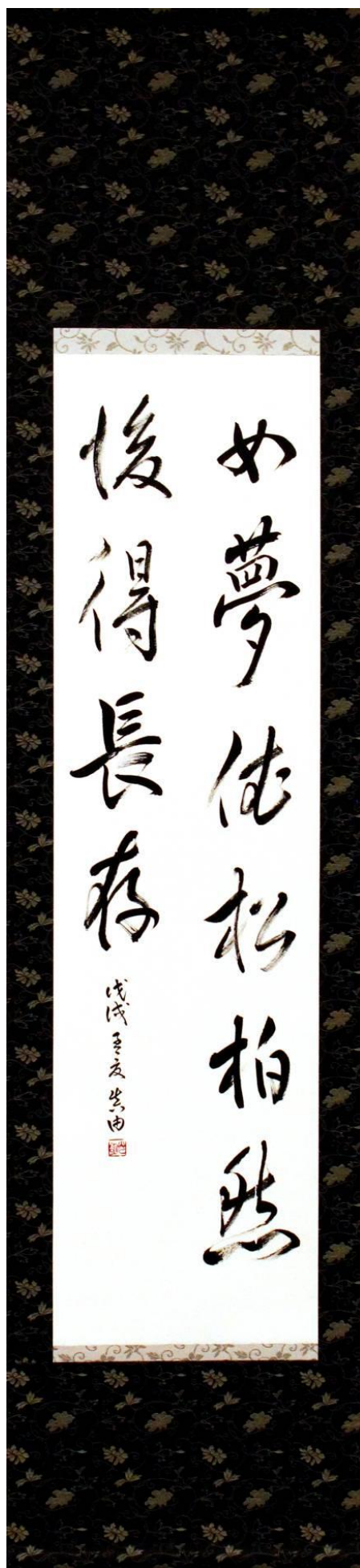






甲骨文 蒼

白寅舍 松浦芳江 (雙風)



青龍舍 岡本真由 (光明)

五言對句





十二支



和樂



祝

白寅舎

白寅舎



細見靖子 (文潮)



向井恵美子 (憲風)





塵外孤標、雲間獨步



白寅舍 小出良子 (食星)



烏城舍 赤澤敬子 (敬風)



落日松風起 還家草露晞  
雲光侵履跡 山翠拂人衣





石章二枚



歡無極



春夏秋冬

東櫻舍

森山加代子 (彩華)



一輪池上明

烏城舍

赤澤尚美 (美泉)







柏葉壽



白鷺映春洲



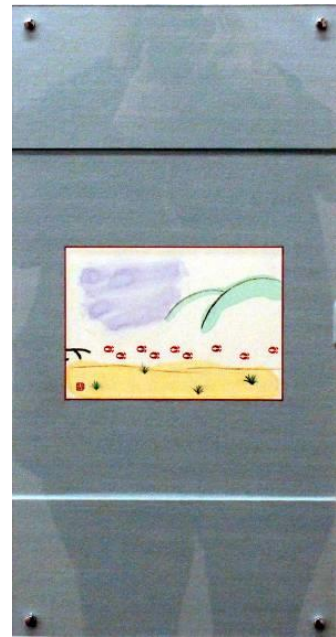
東櫻舎

竹田順子(景勝)





圖章印四方

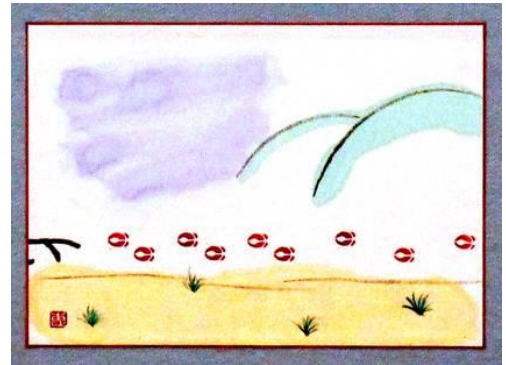


いのしし



東櫻舎

伊藤倫彦 (気楽)

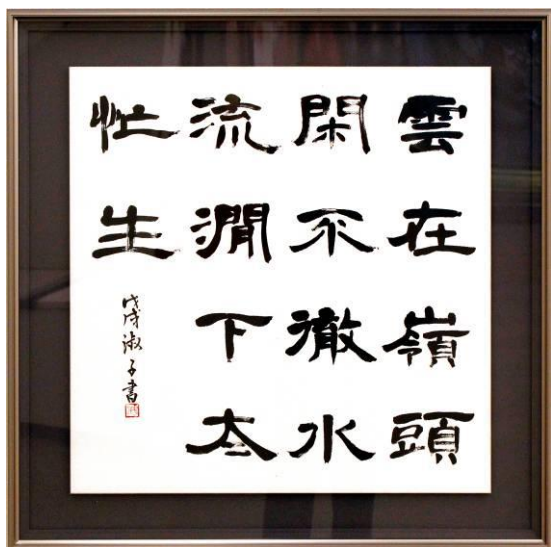


東櫻舎

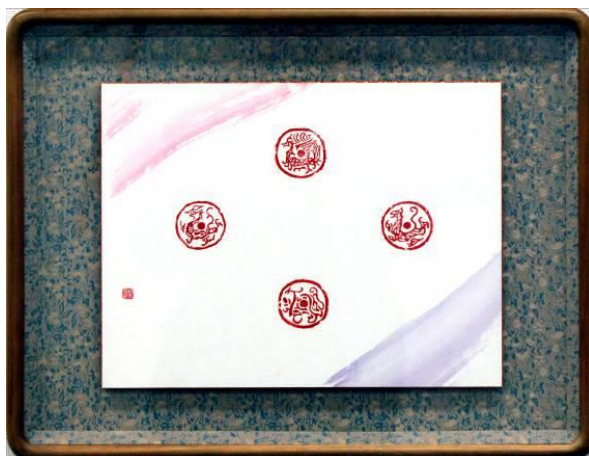
守本千恵 (恵苑)







七言對句



瓦當四靈印



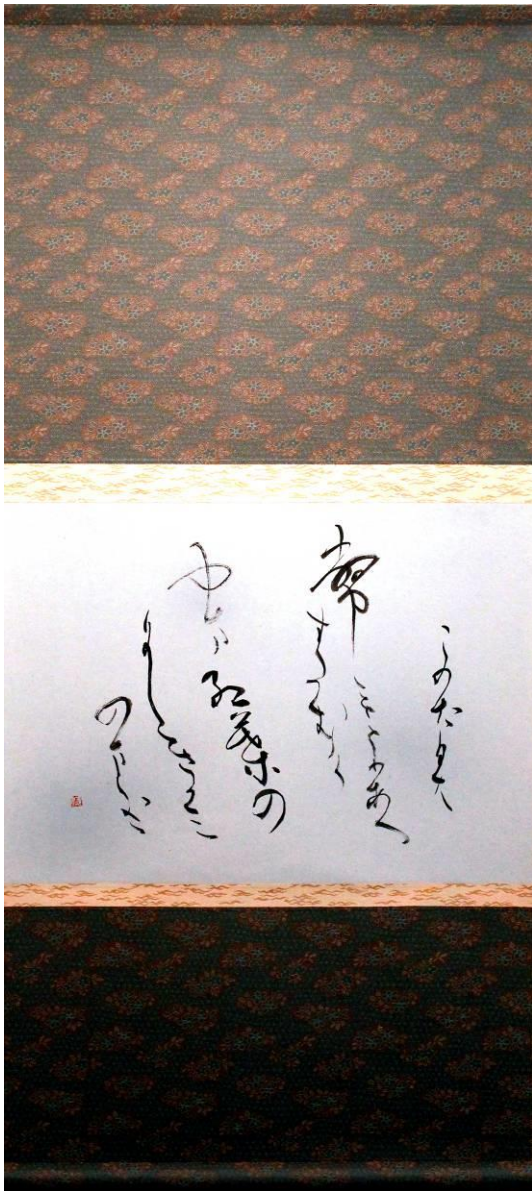
茜柳舍

花園舍

益川淑子 霄月

相方信介 (香風)





このたびは、幣もとりあへず 手向け山  
紅葉のにしき 神のままに

藤永はるな

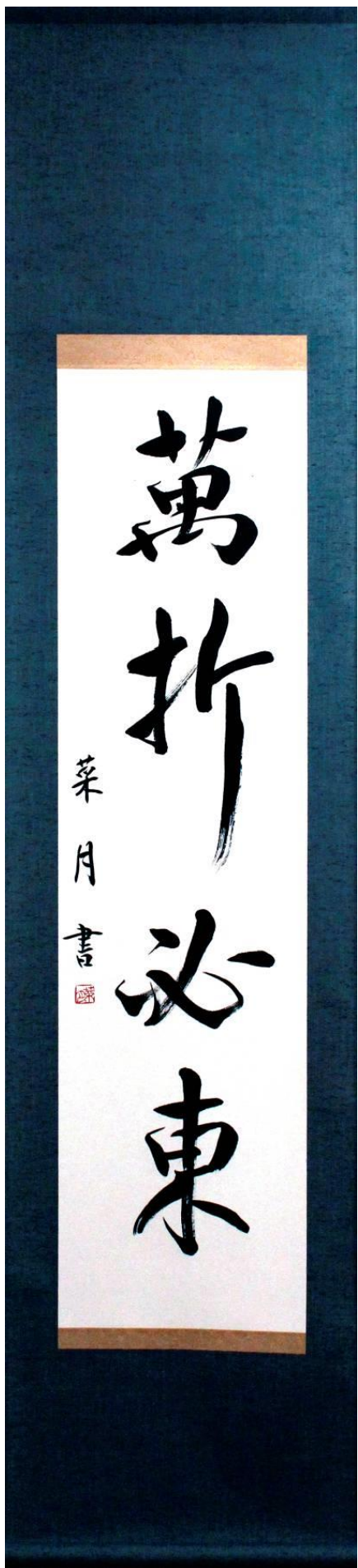


和神養素

紅葵会 遠藤教子 (松琴)

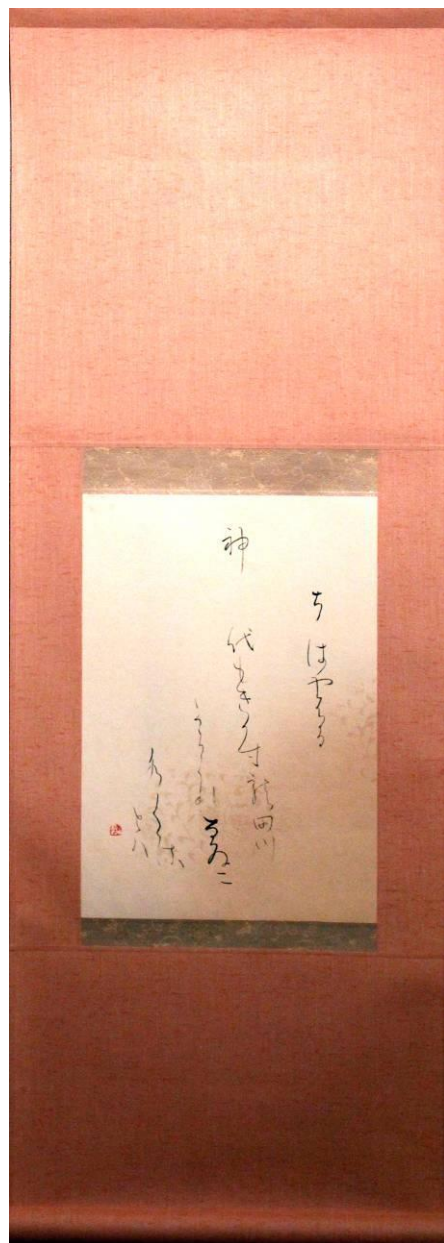






萬折必東

誠之館高校一年  
 舟田菜月



ちはやぶる神代もきかずたつた川  
 からくれないに水くくるとは

広大付属福山高校一年

森川万寛



《十二肖生印》



子 水野宏康 (義山)



丑 四元教夫 (熊岳)



寅 山本美紀 (雨露)



卯 赤山賀与子 (淡久)



辰 高野國昭 (子蛟)



巳 高野國昭 (子蛟)



午 高野國昭 (子蛟)



未 桑田恵子 (彩白)



申 井上和義 (耕石)



酉 藤井幹雄 (平雲)



戌 井上和義 (耕石)

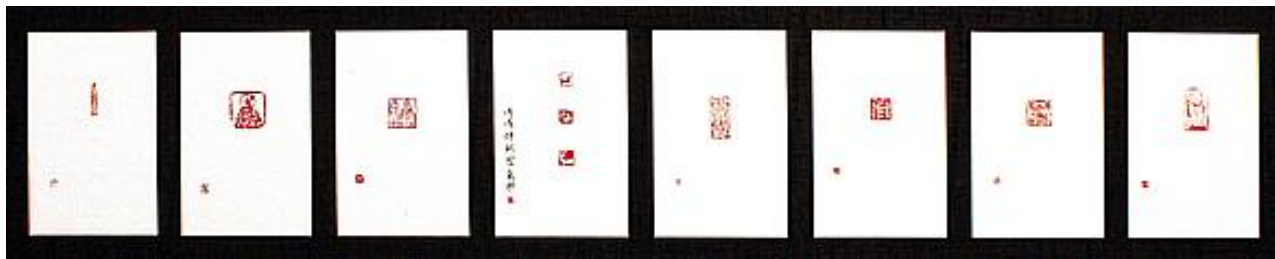


亥 高野國昭 (子蛟)





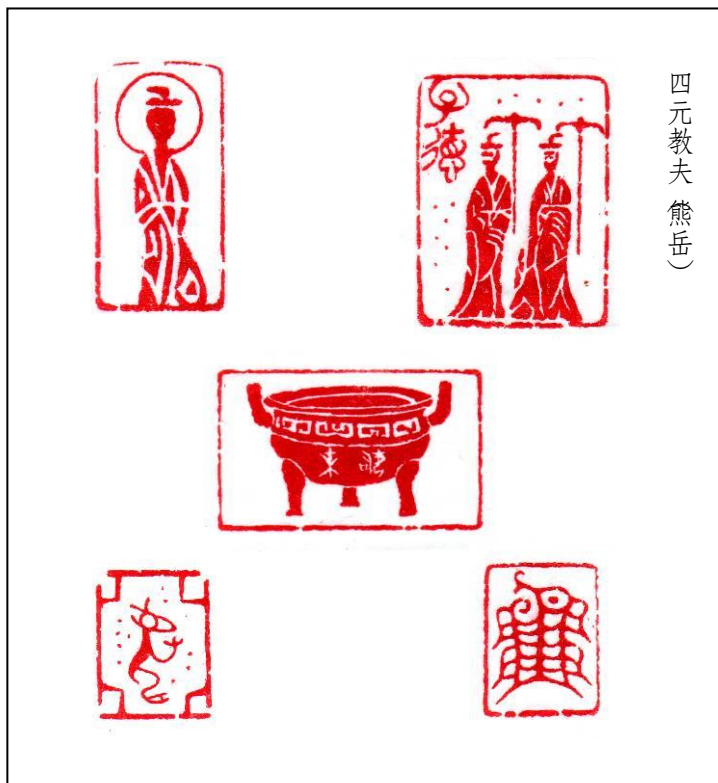
《特集 肖形印》



桑田恵子 (彩白)



高野國昭 (子皎)



四元教夫 (熊岳)



藤井幹雄 (平雲)

赤山賀代子 浚久)



井上和義 陳倉)



甲谷有美 鳳梨)



細見靖子 文湖)



森山加代子 彩華)



竹田順子 景勝)



守本千恵 憲苑)



伊藤倫彦 気楽)







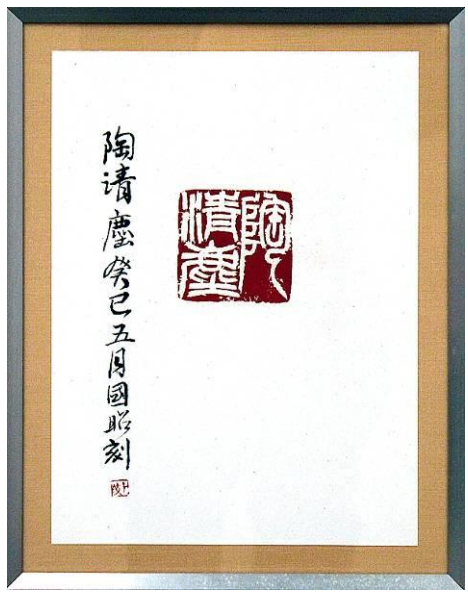
高堅子皎仁品展示區



釜中游魚



塵外孤標



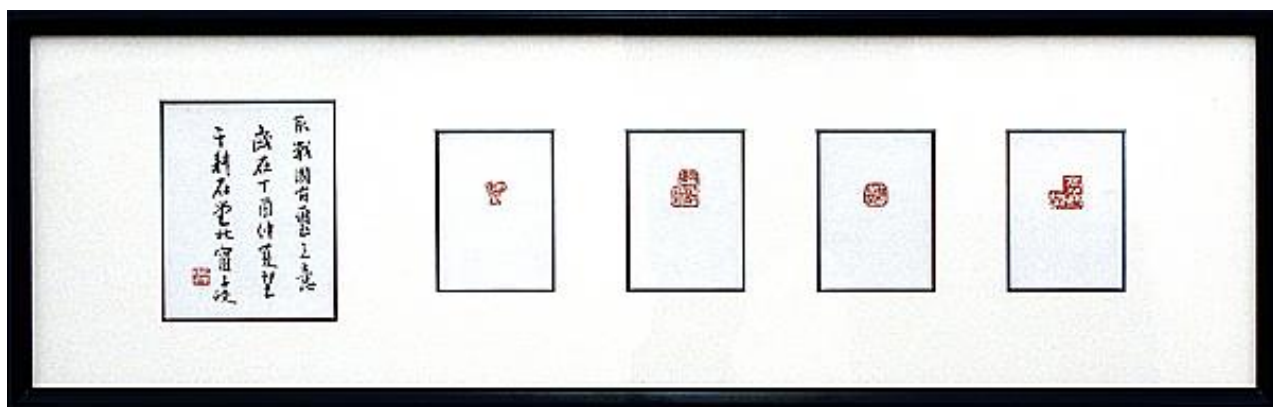
陶清塵



得心應手







做古璽四枚



耕石堂



耕石堂主



耕石堂



高野耕石堂





我心在太古



做漢瓦當二種  
長樂未央 高歲



始平公造像記



游于藝



清德







無教天華隨塵尾  
盡驅春色入毫端

寧捨心久愛